

# ホアビン hoa binh

Vol. 10 2016年1月1日

広島ベトナム平和友好協会(HVPF)

発行責任者 河内 昌彦

編集責任者 赤木 達男

〒739-0024

東広島市西条町御園宇6912

(Tel) 082-423-7235

(Fax) 082-423-8060

ベトナム紀行

人の心と活気にふれて

うららかな良き新年をお迎えのことと存じます。昨年も、多くの方々に本会の諸事業、諸活動にご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

本年は申（さる）年です。

「申」の字は、いなすまを描いた象形文字です。「のばす」という意味があります。皆さまにおかれまして、輝く一年となりますよう、ご健勝とご多幸を記念いたします。本会の活動も、今年、飛躍する年として、より一層邁進したいと考えている次第です。本年も、本会の諸事業、諸活動に、どうぞ皆さまのお力添えご参加、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

新年 明けまして  
おめでとうございます。



広島ベトナム平和友好協会  
会長 河内 昌彦

## 輝く一年となりましたよ

歴史と伝統、文化のまちハノイ

昨年、12月にベトナム北部に位置する首都ハノイに行く機会を得ました。ベトナムのハノイの古い町並みには、固有の歴史的、文化的、社会的そして建築的伝統が保たれています。

その通りに立ち並ぶ瓦葺きの伝統様式の3階建て住宅や商店、路地などでは沢山の人が行き交い、物を売り歩く行商人の姿も見られました。

道路ではシクロという自転車を改良したタクシー、リヤカー、行商人などが、多くのバイクや

暮らしの中へ息づく人々の絆

町中の路地の商店街などでは、夕方になると、店や家の前の歩行者用の路上の至る所で、食事の準備が始まり、やがて家族や友人などで食事をしている光景も多く見られました。

食事では、ベトナムの有名な食べ物であるフォー、オートという米でつくられた麺や鶏肉などがよく食べられていることがあります。そうした町中の光景から、コミュニケーションでの人々のつながりや絆を感じました。

今まさに新しい町も形成されていますし、その町の活力を伝統的な要素と価値観のなかで感じることができます。

ハノイの人々は、自らが創り出しつつある新しい文化と並んで祖先の文化の重要性にも気づいています。

ハノイの建国の父といわれているホー・チ・ミン廟の前に

ベトナムの建國の父といわれているホー・チ・ミン廟の前に

ハノイの歴史的な正確を明らかにする研究も行われた経緯があ

ました。



新旧文化の交錯が活力



ホーチミンが暮らしていた家

事故にあつ確率が高くなるといわれています。道路上の交通量があるなかの横断は、日本では体験できないことで、というよ

り、やってはいけないことで、ハノイでヒヤヒヤしながら横断

横断では、足を止めると危険で往來のなかを人々は足を止めず、それらを縫つて横断します。

横断では、足を止めると危険で往來のなかを人々は足を止めず、それらを

**第3講座**は、次ページの「被爆70年  
ピースチャリティーコンサート」  
(11月1日)でした。**第5講座**は、3  
月27日に開講します。「ベトナムって  
どんな国(2)」です。

**第4講座(12月20日)**

## ベトナム料理(ベト味)講座

カンボジア & ベトナム料理専門店  
「アプサラス」店長の張富裕子さんに、  
「豚肉と卵の煮付け」など4品、教えて  
いただき、美味しく賞味しました。

ポルポト政権の迫害からベトナムに  
逃れ8年暮らした後、1987年に来日。  
その間の体験も話していただきました。  
今年は「開店20周年」を迎えられます。

しっかり食べて、じっくり飲んだが大変安かつた。広島出身者のバーへ行つてホテルへ帰ると日が変わる寸前だった。

### 賀茂泉を手に交流を広める

翌朝はPALO社の幹部との商談となる。はじめは堅い雰囲気だったが、だんだん和やかになり、おおむね商談は成立。午後はイオンモールに向かう。高層ビル街の中 心部を通り抜け、旧市街地に入りベトナムらしい雑然とした街並みを進むと別世界のイオンモールが建っていた。建物の大きさの割りには駐車場が狭い。オートバイの国なので納得する。冷房が効いた館内は快適で食品売り場の品揃えも充実している。

酒売り場にはまだ僅かな日本酒が並んでいるだけ。2皆のダイソーに入る。広い店舗には充分存在価値があった。都心に戻り市場を観察。どれを見ても安い。以前より探し



一年前に原稿を預きながら、事務局の不手際で掲載が一年遅れになり、寄稿いただいた前回様に大変ご迷惑をおかけしました。心からお詫び申し上げます。文中の日付は原文のままとしておりますので2014年です。重ね重ねお詫び申し上げます。(赤木達也)

浮き草(ホティアオイ)の大きいこと、堆積物のせいか少し臭くもあるが、大陸の河とはこんなもんだろう。中国の奥地に始まりミャンマー、タイ、ラオス、カンボジア、そしてベトナムへと流れてきた河の偉大さを感じる。夕食はPALO社の招待で高級ベトナム料理店でご馳走になり、商談は一段と深まる。僅か3日間の滞在で活気のあるベトナムを体験し、次回は北のハノイ市も訪問したいものだ。経済同友会の例会などで今後の交流は日本対ASEAN10カ国、地域としての交流が大切だと話があり、納得する。賀茂泉を片手にベトナムを起点として、今後の交流を広めたいと強く思っている。

# 第8回 「テトを祝う会」 ご案内

とき 2016年2月7日(日)  
午前9時から  
ところ 御薗宇地域センター

◇参加費  
・ベトナム人=500円  
・日本 人=一般: 2,500円  
学生: 1,500円

- ◇プログラム
- 第1部 日本&ベトナム“エンジョイ文化体験(9:00～)  
(日越の伝統的な遊び、手回しオルゴール、南京玉  
すだれ、餅つき)
- 第2部 祝 2016年“テトを祝う会”(12:30～)  
(美味しい・楽しく、歌・踊・ゲームなど)



お申し込みはお早めに!

(電話)082-423-7235  
(Fax)082-423-8060

「奨学支援活動」にご協力ください

ヒロシマとベトナム 重なる願い、つながる心

クアンチ省は中部地域の旧南北ベトナム国境線に位置し、ベトナム戦争が最も激しく戦われ、今なお枯葉剤や不発弾による深刻な被害が続いている。

「第8期サポーター」募集

クアンチの人々は「核兵器も化学兵器もない平和な世界」を願うとともに、「ヒロシマの体験と未曾有の惨禍から復興を遂げた広島に学ぼう」という強い思いを持っています。平和で豊かな未来を創造する人間の力は教育によって養われます。しかし、あまりにも大きな負の遺産を抱えるクアンチ省の教育環境は充分ではありません。特に少数民族の子どもたちは能力も意欲もありながら就学できない状態です。

月額1,500円の奨学支援

これまで140名の子どもたちに総額、約700万円支援しました。現在、第5期～第7期奨学生60名が学んでいます。今年、第5期奨学生（3学年）が卒業し、第8期奨学生（1学年）20名を迎えます。この子たち20名を支援するサポーターの募集を始めました。

卒業までの3ヶ年の支援は、月額1,500円×12ヶ月×3ヶ年=54,000円で、毎年18,000円づつ徴収しています。



ともに戦争による悲惨な体験を持ち、願いを同じくする  
クアンチ省の子どもたちの  
〔夢と希望、そして可能性〕  
をかなえるために、ご協力ください。

奨学金贈呈式で挨拶する友保  
副会長（2015年10月21日）

それらは会員はもちろんです  
ですが、多くの市民・学生  
ボランティアの皆さんとのご  
協力のおかげです。ありが  
とうございました。

ベトナムの草の根市民交流  
促進をめざし、「会員拡大」を  
リ組みでいます。ベトナムに關  
りや興味のある方、ボランティア  
や国際交流に関心がある方、是非、「ご入会ください。

## 入会のお願い